

【議事録】選手・チームとの意見交換会(案)

場所: 蒲郡海陽ヨットハーバー会議室・

時間: 15:00~17:15

出席者(敬称略、順不同): アビームコンサルティング(鈴木國)、エス・ピー・ネットワーク(古谷、八山、三船)、トヨタ自動車東日本(関、石川、富澤)、豊田自動織機(波多江、板倉、原田、永松、マルシン、鈴木恵)、ノエビア(脇永、宮川)、ベネッセホールディングス(吉田愛、吉岡、吉田雄)、明海大学(林、西代、松永)、ヤマハ(今村、飛内)、大西、小泉維吹、須長、辻、外薮、山辺

日本セーリング連盟: JSAF(河野、斎藤渉、中村健次、中村健一、山田寛、齋藤愛子、宮野、岡本、萩原)

1. 2018年NT規定(肖像権、「日の丸」ロゴ等) について(斎藤渉)

・広報活動への協力に関する規定については、配布資料(付則3)のとおりお願いしたい(JSAFと企業の両方にパブリシティー権を有する方向で進めたい)。ただし、最終的には弁護士にチェックしてもらうので多少変更となる場合がある。

→パブリシティー権を所属が持ったほうが良いのではないかと？(脇永)

→本来パブリシティー権等をオリ強ではなくJSAFの広報委員会で管理するべきではないかと？本来のオリ強の仕事ではないのではないかと？(鈴木國)

→JSAFオリ強がNT等を対象に撮影した写真・動画はJSAF側に権利があり、企業側が撮影したものは企業側に権利があるという考え方である。(斎藤渉)

A. 現時点で、JSAF本体の方の体制が整っておらず、ナショナルチーム(NT)という強化選手に限った事案のためオリ強に担当してもらっているが、現在早急に構築中である。(河野)

・企業の所有物に対してスポンサーロゴステッカーを貼ることを拒否した場合の措置については？NT認定の取り消し等のペナルティーがあるのか？(鈴木恵)

A. 2017年NT規定から、特例の申請をすることができるように規定の変更をした。ペナルティーについては、これまで事由に応じて、補助削減、NT一定期間停止等の措置を講じている。(斎藤渉)

A. 必要に応じて、企業側との交渉する準備がある。(河野)

・スポンサーロゴの表示、ユニフォームの着用についても配布資料(付則3)の規定に則り協力をお願いしたい。(斎藤渉)

→配布されるユニフォームに、以下の条件をクリアしたうえで所属企業のロゴを入れることができる

・「日の丸セーラーズ」ロゴと同等以上のサイズにしないこと

・貼り付け場所は自由とするが、「日の丸セーラーズ」ロゴまたはサプライヤロゴを隠さないこと

2. 選考全般の考え方について(中村健次)

・勝てる選手を選考すること、クラスによって選考時期が異なる可能性があること、有力クラスについては、補欠選手を確保することを考えている(←これについては2020年東京オリンピック代表選考のポリシーに明記する)

・JSAFオリ強としての東京五輪での具体的な成績目標は？どのクラスを参加させるのか？(脇永)

A. JOCに提出している目標としては、メダル2種目、入賞2種目である。(中村健次)

A. 東京オリンピックは、全クラス出場させるという方針ではなく、ハードルを設けることを検討している。(中村健次)

●東京オリンピック代表選手選考に関する公示について

・東京オリンピック代表選手選考に関する公示が2018年末では2019年の準備をする上で遅すぎる。発表期日を明確にしてほしい。2018年8月ころまでには公示してほしい。(脇永)

・東京オリンピック代表選手選考に関する公示が2018年末だと遅く、2018年夏頃までには公示すべき。詳細ではなくおおよそのスケジュールやポリシー(複数大会を使うのか?時期はいつまでに選考するのか?)を知りたい。事前準備期間を十分に設けてほしい。ポリシーについてはすぐにも出してほしい。2017年NT選考方法についても、ランキングを使える大会への参加の可否を決められる後に公示が出たため、準備期間が無い状況になった。(鈴木國)

・最初の選考大会の1年前には公示してほしい。企業内の調整(予算等)、選手準備(用具購入・調整)の時間が必要。(鈴木恵、飛内)

・艇の購入(約1年間かかる)や、あらゆる準備の観点からもより早くスケジュールを出してほしい(三船)

A. 現在の公示は、最終期限として出しているの、可能な限り早く公示したいと考えている(中村健次)

・選考のポリシーについて意見を出せるのか?(マルシン)

大きな大会を選ぶのか?適した大会が選ばれるのか?(脇永)

A. 選考方法を公示するまでは意見をできる(中村健次)

・選考方法は、JSAFが責任を持って行うべき。(三船)

・JSAFが決定したことに異論することはないが、時期等を十分考慮してほしい。(飛内)

・選考に関する意見については、メ切を設けて意見を募り、後の決定は責任を持ってJSAFが行うべき。(鈴木國)

・選考に関する意見が出た時点で、議論する機会を作ってはどうか?(マルシン)

・選考に関わる最初の大会の1年前には公示してほしい。(脇永)

・2018年6月までに出してほしい(鈴木恵)

・ポリシーをとにかく早く出してほしい(鈴木國)

A. 東京オリンピック代表選考に関するポリシーは、できるだけ早く公示する(中村健次)

3. アジア大会について(中村健次)

・JOC(日本オリンピック委員会)の派遣方針が未決定であり、派遣規模が現状不明である。ただし、オリンピッククラスを優先して出場させる方向性にあるという話があるという。(未確定情報)

・プレアジア大会(@インドネシア)が2018年5月に開催予定。代表選手は原則出場してもらいたい。(中村健次)

・プレアジア大会については、実際に開催されるかまだ不明である。また、5艇以上の参加がないと開催されないという事実もあるので、企業の事情と大会スケジュールと合わせて考えていく必要がある(齋藤愛子)

情報提供:JOCはアジア大会を強化の評価大会としているため重要視している(競技団体への予算配分に影響する)という部分を共有しておきたい。また、2024年オリンピック種目の選定にも関わり、アジア大会に日本選手が出てほしいという要請もあるということ(河野)

・派遣選手の優先順位が、オリンピッククラスの2017年世界選手権の着順になるということは、この世界選手権に出場していない選手は選考対象外となるのか?(吉田雄)

A. 配布資料の本意は、JOC派遣規模により種目の取捨選択を行う場合に、2017年世界選手権の成績をもとに派遣種目を選定するとう意味。(中村健次)

・アジア大会(プレアジア大会含む)に出ない場合のNTとしてのペナルティーはあるのか?(鈴木國)

・アジア大会の代表を辞退できるのか(脇永)

A. 原則、強い選手チームを派遣したいという考えであるが検討する。考え方としては、代表選手が辞退する場合には、クラスの派遣を辞退する可能性もある。

・アジア大会に出る選手に対して、何か良い条件を付ければ良いのではないか(関)

・この条件に、東京オリンピックの選考を絡めるべきではないと考える(鈴木國)

・選手を繰り下げて派遣すればよいのではないか？アジア大会の成績が選手にとって有益になる場合もあるのではないか。(マルシン)

・アジア大会と2019年NT選考大会の日程が被らないように調整すれば問題ないのではないか(飛内)

・アジア大会で成績を出すためにはその準備が必要。ランキングを上げるためには必要ない。5月プレアジア大会は体力的に無理なスケジュール(2ヶ月で5大会)、艇の準備が確実に間に合わない(マルシン)

・5月プレアジア大会への参加が必須というのは厳しいのではないか。他の強化計画(遠征・合宿)の方が選手にとって良い場合もあるのではないか(石川)

・過密日程の中で、選手がパフォーマンスを発揮できるように選考を考える必要がある。選考方法のポリシーを早く出してほしい(三船)

・アジア大会への参加意思は、事前に確認しておけばよいのではないか(鈴木國)

・用具が足りなくなる場合に、道具をサポートする可能性があるか？(マルシン)

A. 現時点ではない。アジア大会に対しては段取りを考える必要があるか検討する(中村健次)

・5月プレアジア大会には、プリンセスソフィア後にコンテナを出すことになるのか？(八山)

A. はい。プレアジア大会(アジア大会)に向けたコンテナを送り出す(齋藤愛子)

●2018年ワールドカップとプレプレオリンピックの開催時期については？(大西)

A. 9月頭に2018年ワールドカップとプレプレオリンピックを同時開催する方向にある(齋藤愛子)

●アジア大会代表選手が、2019年NTになるという公示について、RSXについては、公示が遅い(選考大会終了後だった)ので避けてほしい(大西、須長)

A. クラスごとの事情を考慮して2019年NT選考方法を公示する(中村健次)

4. 2018年オーフス大会について(齋藤愛子)

・現時点で、世界選手権の成績からオーフス参加国枠が470男子4枠、470女子2枠、Radial3枠、49er男子1枠、FX3枠、Nacra17混合1枠、Finn男子1枠、Laser男子3枠、RSX男子2枠、RSX女子3枠ある。

・11月1日を過ぎると枠数が決定して、残り枠はランキング順に割り当てられるが、日本選手の獲得は難しいかもしれない。

・宿泊について、デンマークのアパートは小さく、ハーバーから離れた所では車が必要になるが、大会側から配布される駐車証の枚数が限られている。

・事前準備として、ハーバー近辺のホテルを何件か予約している。

・基本的に、出場が決まったチームから、各チームで宿泊予約を進めてほしい。

●ワールドカップファイナル2018(6月末~7月頭)について

・キールはなくなり、4ヶ所(オランダ:メデンプリック、オランダ位:デンハーグ、ポルトガル:●、フランス:マルセイユ)が候

補地として挙げられている。

5. オリ強関係の情報提供

●気象関係について(齋藤愛子)

- ・ウェザーニューズが東京オリンピックまで江の島での気象情報のサポートする方向で調整している
- 岡本氏がウェザーニューズに所属することが決まり、気象情報の整理・情報提供サポートに入る。現場での気象情報の変化について選手と共有していきたいと考えている。(岡本)
- ・潮流データの整理を東京大学の早稲田先生研究チームに依頼している
- ・江の島に固定カメラを設置する方向である
- ・風データの固定局を設置する予定である
- ・潮流計測用の常設ブイを設置する方向である(2ヶ所くらいを想定している)

- ・最終的に選手に落とし込めるような各レース海面での癖・傾向を出せるのか？(脇永)
- ・選手にどのようにデータを伝えられるかを考えてほしい。伝えられる情報なのか伝えられない情報なのか整理しておく必要がある。(鈴木國)
- ・微小気象の整理は難しいのではない？選手・コーチとの相互議論の場を構築できるのか？(三船)
- ・オリンピック時期(7月末から8月頭)のデータはあと2回しか取得できないので、信頼性が確保できないのではない？(富澤)
- ・大領域でのデータはあまり必要ないのではない？各レースエリアの大きな傾向(右 or 左)を捉えられるのか？(松永)

A. 2018年春頃から詳細な方法(レースエリアの選定、データ収集および分析等)を検討後、準備を進めたいと考えている(齋藤愛子)

A. 大領域と小領域(レースエリア)の傾向をデータで示せれば使えるデータになると考えている(中村健次)

A. 気象チームにフィードバックして、今後の方向性を検討する(齋藤愛子)

●活動環境整備について(齋藤愛子)

- ・江の島ヨットハーバーは、公共施設であり一般利用者が優先されるため、オリンピック開催に対してネガティブな部分がある。
- ・サザエ島に簡易なトレーニング施設と、2F 備蓄庫に有酸素運動用の機材を設置した。
- ・ディンギー8艇分のバースを減免で利用できる許可を得た。

- ・2018年から通年で火曜日の利用を認めてもらうことはできないか？(吉田雄)
- ・ハーバー利用時間を延長してほしい(マルシン)

A. 交渉します(齋藤愛子)

・江の島ヨットハーバーのバース減免利用について(脇永)

A. 臨時バースは減免になりません(齋藤愛子)

・江の島ヨットハーバーの減免利用できるディンギーバースの利用について(鈴木恵)

A. 回答をNT選考後まで待ってほしいです。オリ強内で効果的な利用方法(利用者、利用料等)を検討します。(中村健次)

・ウィンドサーフィンも江の島ヨットハーバーを使えるようにしてほしい。オリンピックシーズンと大会の1ヶ月前から(富澤)

A. 再度交渉・リクエストする。時間をいただきたいです。(齋藤愛子)

・葉山新港については、ウィンドサーフィン用にコーチボート 2 艇、ウィンド用具保管の許可を得た(齋藤愛子)

・アビームチームが、合宿で JOC 強化拠点になっている葉山新港の利用を申し込んだ際に、イギリスチームの使用により断られたことがあるので、JSAF からリクエストを出してほしい(鈴木國)

A. JSAF からリクエストを出します(齋藤愛子)

●オリ強での強化体制について

・オリ強としての、チューニングのデータベースなど構築しているのか？FX に関しては、企業側の方がデータを持っている(脇永)

A. オリ強としてのデータベースはない。フィジカル面の啓蒙や、選手の練習環境の構築などを実施している(中村健次)

・各クラスにおけるチューニングの(ノースセールのような)データベースをオリ強として作れないのか？(三船)

A. 現状持っていないが、やるべきだと考えている。具体的なやり方は検討する必要がある(中村健次)

・選手強化の方針はどのように決めているのか？(脇永)

A. 各クラスで検討している(中村健次)

・テクニカルな部分の担当スタッフは存在するのか？(脇永)

A. 各クラスの担当コーチが可能な限り担当していく(中村健次)

6. その他、情報共有

●NHK 番組制作(470 レース解析)への協力をお願いしたい。(中村健次)

→オリンピックウィークで風データと航跡データを取得してパフォーマンス分析を実施する予定

・選手の実名でパフォーマンス(データ)を比較されることは、問題があるかもしれない。(鈴木國)

A. 取材者側と協議して、番組での取り扱い方、必要な措置等を検討して、事前に相談します(中村健次)

・どこまでの映像が出るのか？セールシェイプなどは控えてほしい。(三船)

A. セールシェイプの映像があれば、伏せるようにします(中村健次)

●マークの制作・購入について

・形状、大きさ等を提案するので、希望する企業・選手は購入できるよう調整します(中村健次)

●NT 選考シリーズの大会数を増やす、またはエントリー数が多い大会を選んでほしい(大西)

●11 月頭頃を目処にホームページをリニューアルする予定である。(齋藤渉)

●オリンピック代表選手はコーチを選べるのか？(脇永)

A. 要望していただき、その時の状況により検討する(中村健次)

●東京オリンピックのアクレディテーションカード枠数は増えるのか？(鈴木國)

A. 枠数はこれまで通りで、現時点で増える可能性は低い(齋藤愛子)

以上